

料金別納郵便



ワーカーズ Workers 被災地に起つ

マスコミ
試写会
のご案内

明日をつくる、自分たちでつくる。

誰もが不安を抱えるいまだからこそ、見えてくるものがある。

高度経済成長の終焉から約半世紀、急激な人口減少社会、ますます広がる貧困や格差は、否応なく私たちに様々な価値観の転換を求めています。2011年3月の東日本大震災。それは、被災地のみならず、いまを生きる私たちに“これから私たちはどう生きていくのか”という問いを投げかけました。この映画は、競争、効率、自己責任…ではない持続可能な社会への仕組みづくりを地域の人とともに模索・実践し続けてきたワーカーズコープ(協同労働の協同組合)が、震災後に大槌・気仙沼・亶理・登米の地で、ときに不器用に、ときに無謀に目の前の「困った」に向き合う姿を、2016年2月から2017年12月までの22ヶ月間にわたって記録したものです。変わりゆく東京の下町での取り組みの様子を描いた第一弾「Workers」(2012)に続く映画第二弾。そこには、誰もが息切れしそうな現代社会で見つめ直されている「ともに生きる社会」の原点があった――

試写会にぜひご参加ください

7月2日(火) 18:00~

会場: 桜坂劇場 (那覇市牧志 3-6-10)

7月3日(水) 14:00~ , 19:00~

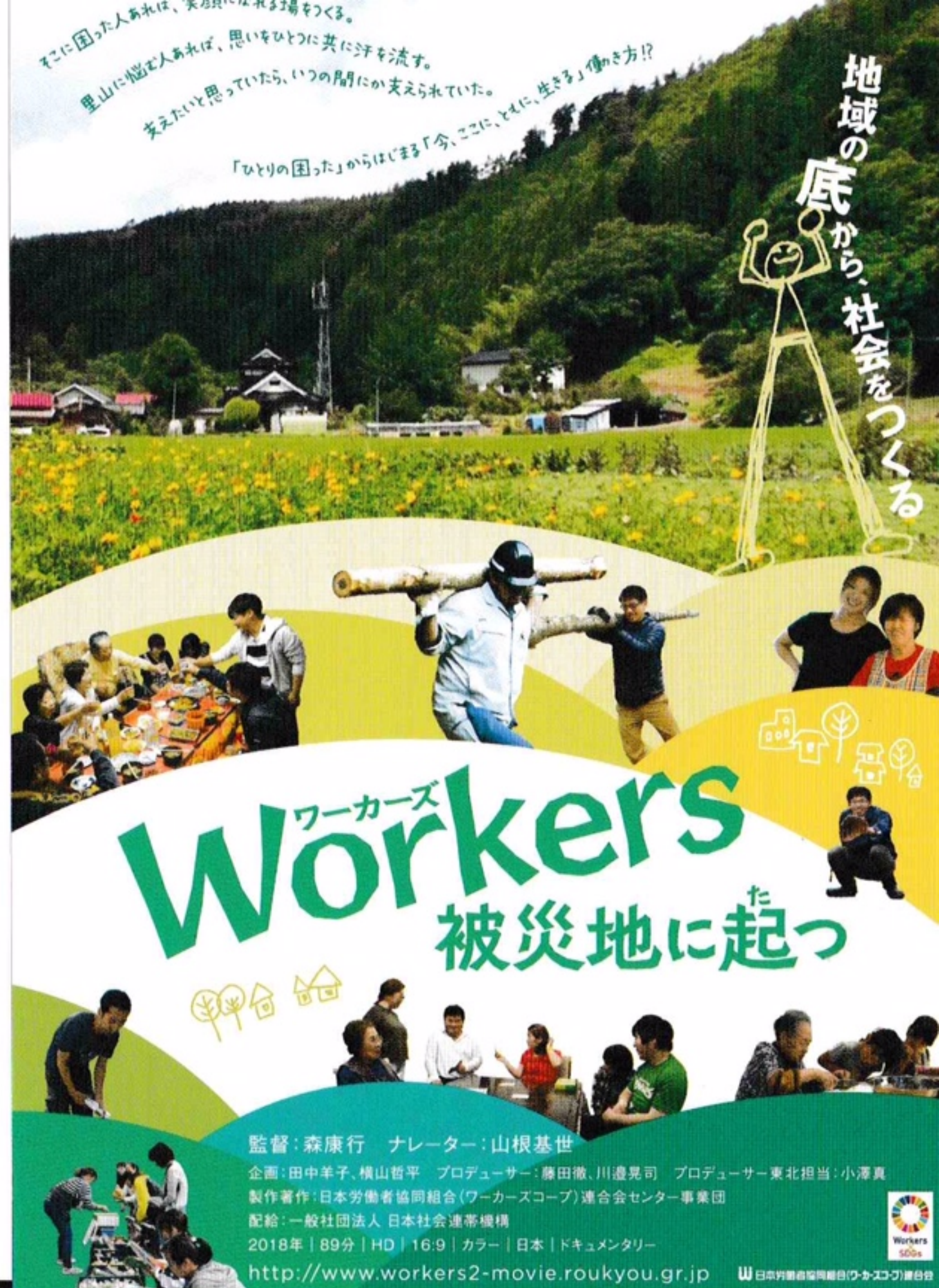
会場: 沖縄 BooksCafe&Hall ゆかるひ
(那覇市久茂地 3の4の10の3階)

8月10日(土)~23日(金)

桜坂劇場にて公開決定!

監督
製作
【お
テ
TEI

品



そこに困った人あれば、実を共にはれる場をつくる。
里山に燃える人あれば、思いをひとつに共に汗を流す。
支えたいと思っていたら、いつの間にか支えられていた。
「ひとりの困った」からはじまる「今、ここに、とくに、生きる」働き方!?

地域の底から、社会をつくる

ワーカーズ Workers 被災地に起つ

監督: 森康行 ナレーター: 山根基世
企画: 田中羊子、横山哲平 プロデューサー: 藤田徹、川邊晃司 プロデューサー 東北担当: 小澤真
制作著作: 日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会センター事業団
配給: 一般社団法人 日本社会連帯機構
2018年 | 89分 | HD | 16:9 | カラー | 日本 | ドキュメンタリー
<http://www.workers2-movie.roukyou.gr.jp> 日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会

これは、被災地にとどまらない、いまのニホンを元気にする“まちづくり”の物語。